

暑中お見舞い申し上げます

校長 小杉 栄樹

今日は登校日でした。朝校門で挨拶をしていると、子供たちも元気に挨拶を返してくれます。子供たちには、「あいさつ日本一」の砂山小学校をめざしましょうと話しています。夏休み中も、出会った人たちに元気よく気持ちのよい挨拶をしてほしいと思います。夏休みはまだ続きます。交通安全、水の事故、熱中症等には、十分に気をつけてください。



「世界にたった1人しかいない 自分を大切にしてください」

夏休みに入ってすぐに福岡県において、川に遊びに行っていた3人の子供たちが溺れ亡くなるという痛ましい事故が起きました。山形県では、部活からの帰宅途中に女子生徒が熱中症により亡くなるという悲しいニュースも報道されていました。亡くなった子供たちのご冥福を心よりお祈り申し上げます。本校でも、日頃から川や海、プールなど子供だけでは行かないこと、危険な場所には近づかないことを指導しています。交通事故や熱中症に対する注意喚起も行っています。自分の命は世界にたった1つしかありません。どうか「命を守る」ことを常に考えて行動できるようご家庭でも子供たちと話し合ってください。35日間の夏休みに、子供たちがすばらしい思い出を作り、一回り成長した姿で、2学期始業式の日に登校してくれることを願っています。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

78回目の終戦記念日

8月15日(火)は78回目の終戦記念日です。日本各地で様々な行事が行われます。砂山小学校でも、今日の登校日に、私から、子供たちに、8月6日広島、8月9日長崎、8月15日終戦、そして、7月9日和歌山大空襲の話をしました。各クラスでも学年に応じた平和学習を行いました。子供たちは、静かに真剣に聞いてくれました。和歌山大空襲を知らない子供たちも増えてきています。私自身も戦争を経験したことはありませんが、今から78年前、子供たちの祖父母、曾祖父母の時代に戦争があったことを、そして、戦争の恐ろしさ、悲惨さを語り継いでいくことの大切さを改めて感じます。ご家庭でも、「戦争と平和」について、子供たちと話し合っていたいただければと思います。



地域の方々に感謝します

砂山小学校の子供たちは、今年度も地域の皆様に見守られながら育てていただいています。コミュニティスクール(学校運営協議会制度)も今年度6年目を迎えます。学校と保護者、地域の方々との信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組むことを目的としています。このコミュニティスクール活動の一環として、地域に暮らす先輩の方々の力をお借りし、「地域先達との協働連携による学校教育力充実事業」に取り組んでいます。この取組では、砂山地区婦人会や老人クラブの皆様にご協力いただき、低学年の学習支援や水泳授業のサポート、図書室の整理等子供たちの学習や学校生活のサポートをしていただいています。本当にありがとうございます。学校、保護者、地域の皆様が連携しながら子供たちの安心安全を見守っていききたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



本校の教育方針に加え、このような活動も含めて「砂山小学校学校運営計画書(スクールプラン)」に示しています。砂山小学校のホームページに掲載していますのでご覧ください。

サツマイモの植付体験

6月26日に、砂山地区社会福祉協議会長檜原様、砂山連絡所長久保様、和歌山市役所中川様中野様にご協力をいただき、2年生の子供たちがサツマイモの植付体験を行いました。事前に畝作りや除草シートの設置をしてくれており、丁寧な説明の後、1人1本のサツマイモの苗を植付けました。水やりや雑草抜きもお任せしています。順調に大きく育っています。本当にありがとうございます。秋の収穫が楽しみです。



和歌山 藍(あい) プロジェクト

7月18日に、和歌山青年会議所様のご協力で、藍染(あいぞめ)体験をさせていただきました。日本の伝統産業である藍染の体験を通して学ぶ大変貴重な機会となりました。きれいな藍色に染まった「世界に一つだけの藍染Tシャツやタオル」ができあがりました。早速Tシャツを着て登校してくる子もいます。素敵な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

